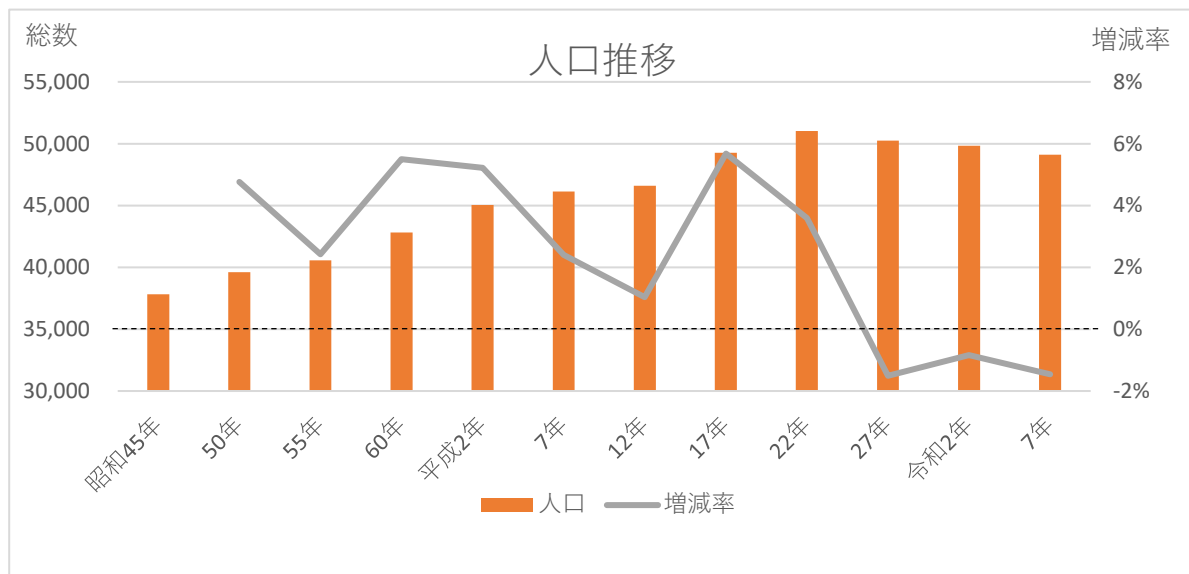


令和7年国勢調査 人口等基本集計結果の概要

1 人口の状況

本市の人口は、49,105人（令和7年10月1日現在）
前回令和2年調査から 730人（1.5%）の減少

- ・全国結果は調査開始以来、前々回調査で初めて減少に転じ、今回調査でも引き続き減少した。
- ・三重県も前回に引き続き減少し、本市においても前回に引き続き減少した。
- ・速報値49,168人（令和8年5月29日公表）から63人減

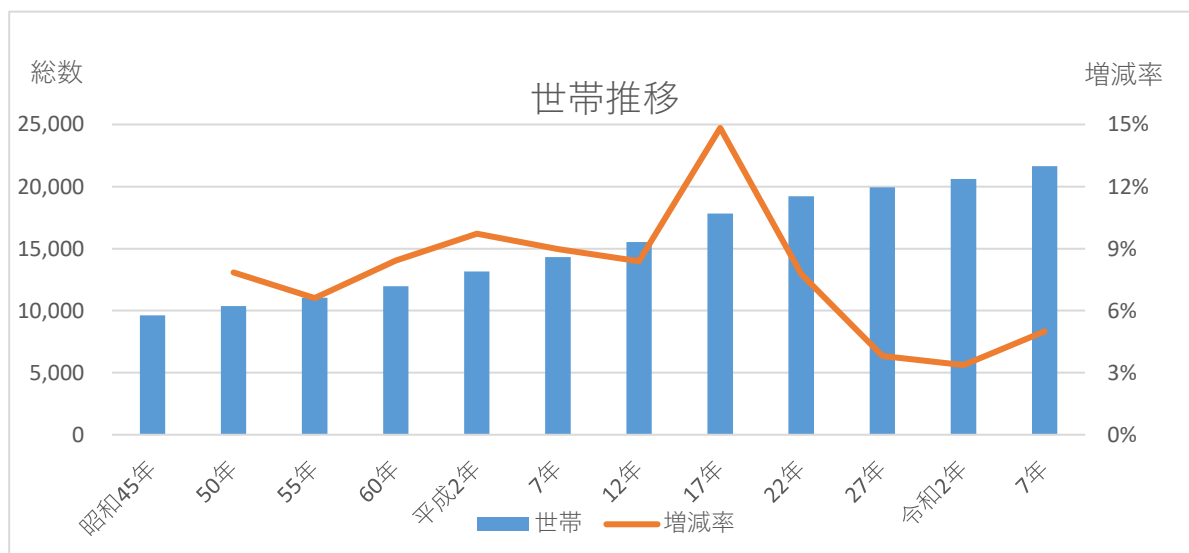


※昭和45年～平成12年は旧亀山市と旧関町の合算値

2 世帯の状況

本市の世帯数は、21,647世帯（令和7年10月1日現在）
前回令和2年調査から 1,030世帯（5.0%）の増加

- ・世帯数については増加し、その増加率についても前回を上回った。



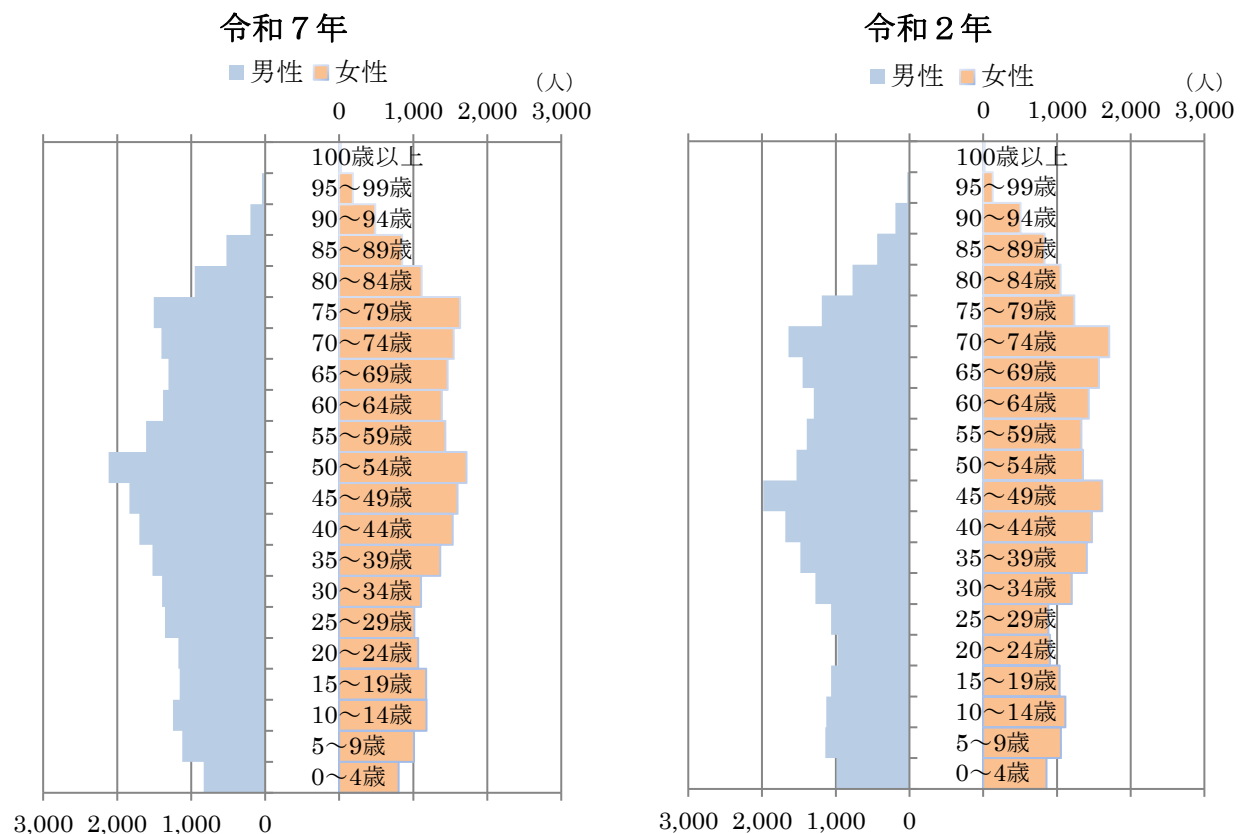
※昭和45年～平成12年は旧亀山市と旧関町の合算値

3 男女別人口及び年齢別人口

※割合は、分母から年齢「不詳」を除いて算出

男性は24,875人、女性は24,230人
 年少人口（15歳未満人口）は12.9%で0.9ポイント減
 生産年齢人口（15歳から64歳までの人口）は59.6%で1.5ポイント増
 老年人口（65歳以上人口）は27.5%で0.6ポイント減

- ・全国的に男性より女性の方が多い結果となった中、本市は前回に引き続き男性が女性を上回った。
- ・男女別の増減数は、男性が286人減、女性が444人減と、男性より女性が減少している。



4 今回の結果の要因について

本市においては、平成29年以降、出生が死亡を下回る自然減の数が大きくなっており、また、転入者が転出者を上回る社会増となっております。

しかしながら、自然減をカバーするほどの社会増とはなっていないため、人口は、730人の減少となっております。

社会増については、令和4年以降、外国人の転入が多くなっており、本市における人口の減少を緩やかにしている要因と考えられます。

また、外国人の転入については、単身世帯の外国人が多いため、本市における世帯数の増加の要因の一つと考えられます。